

分 類	1—2 家具の転倒防止策の理解と指導要領
目 的	<p>防災の基本に「家具の転倒防止」がある。大地震では固定されていない家具類が転倒し、重量のある家具の場合は人命が失われることもある。また、食器棚の転倒は、食器やガラスの飛散がけがの原因となり、避難行動を妨げることにもなる。さらに、窓ガラスの破損も忘れてはならない。阪神・淡路大震災では、神戸市消防局の資料に、けがの原因として「家具の転倒」(48.5%)、「落下物」(15.8%)、「ガラス」(10.5%)という報告がある。</p> <p>われわれとしてはまず、家の中(周り)を安全にし、いつ来てもおかしくない災害に備えておくことが最低限必要である。そして、単なる知識としてだけでなく、いつ来るか分からない災害に備えることの意義について、周囲に広め、提案する活動を展開したい。</p>
主な内容例	<ol style="list-style-type: none"> 1 家具の固定が進まないのはなぜか(防災士の役割とは何か) 2 家具の転倒とその結果 3 建築構造、間取り等を考慮した家具の置き方(レイアウト) 4 家具の固定方法(代表的な固定器具と固定方法) 《 間取り別対策例など 》 5 ガラス等の飛散防止対策 6 埼玉県家具固定サポーター登録制度 7 高層マンションにおける諸課題 <p>(それぞれの内容(方策)について、指導上の要点、注意点を示すように努める)</p>
参 考 資 料	<ul style="list-style-type: none"> ・防災士教本(2022年版)P.252 ・イツモ防災「地震時の行動編」(埼玉県) ・内閣府 防災のページ ・総務省消防庁ホームページ ・東京防災(東京都)P94 ・東京消防庁 HP